

Pioneer

マルチ CD/MD コントロール CD チューナー アンブ

DEH-P5000

取扱説明書

carrozzeria

目次 4 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



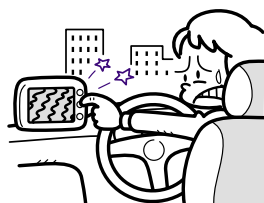
必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

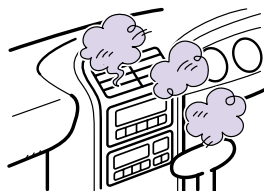
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 別売のメインコントローラーを使う 7

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 8
- 2 内蔵CDのふだんの操作 10
 - CDをセットする
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
 - CDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 12
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する
- 4 マルチCDのふだんの操作 14
 - CDを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する

内蔵CD 内蔵CDでCDを聞く

- 1 モードの切り換えかた 16
- 2 同じ曲を繰り返し聞く 17
- 3 いつもと違う曲順で聞く 17
- 4 聞きたい曲をさがす 18
- 5 CD再生を一時停止する 19
- 6 CDのタイトルを表示させる 19

ラジオ ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に記憶させる 20
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 21
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 21

マルチCD マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚) 22
- 2 おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚) 22
- 3 モードの切り換えかた 23
- 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く 24
- 5 聞きたい曲やCDをさがす 25
- 6 いつもと違う曲順で聞く 26
- 7 聞きたい曲だけ記憶させておく 27
- 8 記憶させた曲だけ再生する 28
- 9 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 29
- 10 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 29
- 11 CDのタイトルを記憶させる 30
- 12 CDのタイトルを表示させる 31
- 13 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる 32
- 14 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 33
- 15 CD再生を一時停止する 34
- 16 CDの音質を調整する 35

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

音の調節

音を調節する

1	イコライザーカーブを選ぶ	36
2	オーディオ調節モードの 切り換えかた	36
3	小音量時の音にメリハリをつける	37
4	前後左右の音量バランスを 調節する	38
5	サブウーファーを使う	39
6	サブウーファーを調節する	39
7	お好みに合わせてイコライザー カーブを調節する	40
8	前にステージがあるような 感じにする	41
9	各ソースの音量の違いをそろえる	42
10	イコライザーカーブを細かく 調節する	43

はじめに

内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

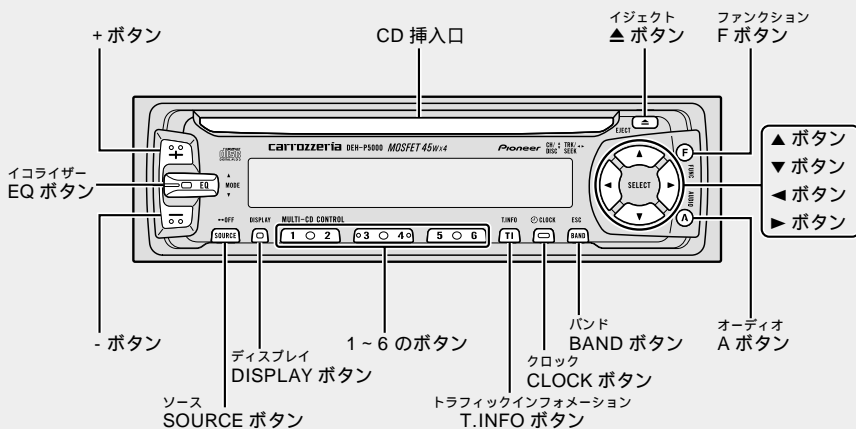
その他の機能と付録

その他

その他の機能と付録

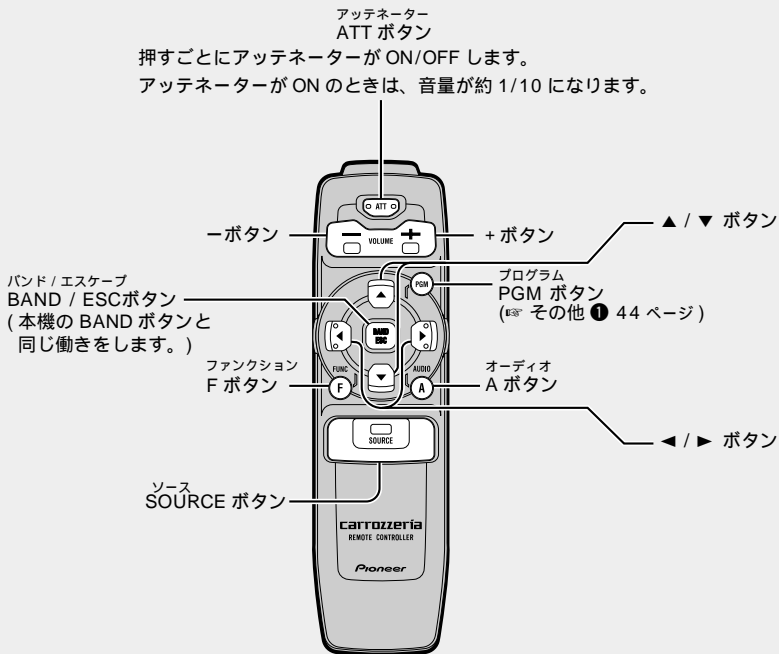
1	よく使う機能を学習させる	44
2	時計を表示させる	45
3	交通情報を受信する	46
4	初期設定モードの切り換えかた	47
5	時計を合わせる	47
6	テレビのときに オートアンテナをのばす	48
7	外部機器の音声を聞く	49
8	外部機器の名称を入力する	49
9	CDの正しい使いかた	50
10	故障かな？と思ったら	52
11	こんなメッセージが表示されたら	54
12	保証書とアフターサービス	55
13	本機の操作の概要	56
14	おもな仕様	58

本機「DEH-P5000」



別売のメインコントローラー「CD-R600」について

別売のメインコントローラー「CD-R600」で、本機を操作することができます。メインコントローラーの取り扱いについては、メインコントローラーの説明書をお読みください。



メモ

別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR77」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。

ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

ここだけで

1

聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵CD

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

1 枚型 MD (別売)

マルチ MD (別売)

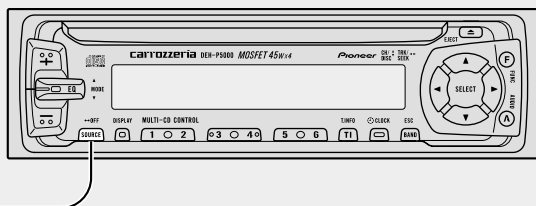
マルチ CD (別売)

AUX (外部機器) (別売)

内蔵CDに戻る

2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
本機の電源が切れます。



テレビ、テープ、1枚型MD、 マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書
をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P707」
1枚型MD	「MDS-P7000」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外
の製品を例にして、操作説明が行われて
いる場合があります。その製品と対応し
ているボタンで操作を行ってください。

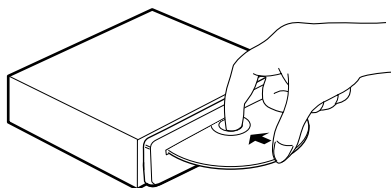
メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやMD、テープがセットされていないときは、
そのソースには切り換わりません。
AUX (外部機器) の設定 (E 49ページ) を
ONにしないと、AUXには切り換わりません。

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

1 CDを セットする

タイトル面を上にして、挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。



再生経過時間

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

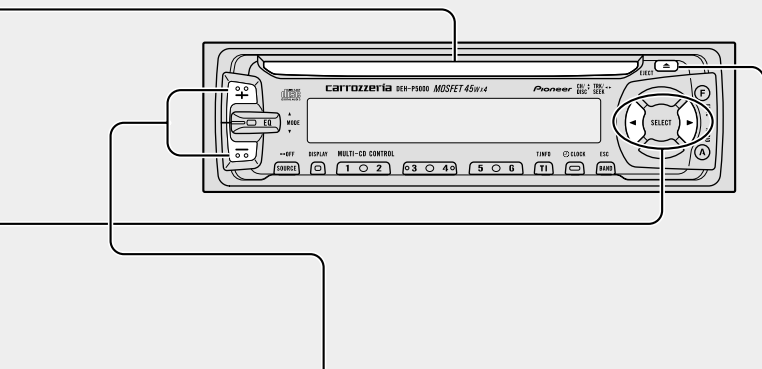
選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択 0.5秒未満

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し
続けている間

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやマルチCDなど) に切り換えることもできます。(※ ここだけで① 8ページ)



3 音量を調節する

- + または - ボタンを押す
- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき

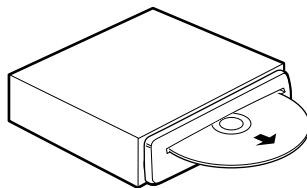


0 ~ 30 の範囲で
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出して CD再生をやめる

- ▲ ボタンを押す
- CDが出てきます。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。

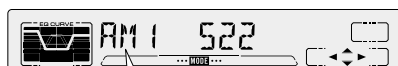


ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを 選ぶ

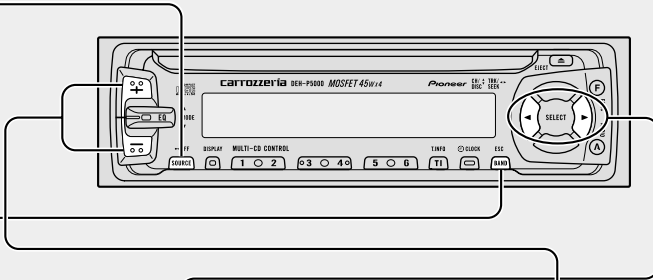
BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



FM1 FM2
AM2 AM1

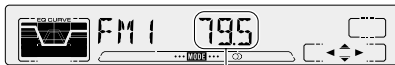
FMとAMのどちらとも、より多くの放送局を記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できる周波数は1と2のどちらも同じです。)



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

+または- ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき



0~30の範囲で
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 8ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す
マルチCDの再生が始まります。



再生経過時間

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



CD 番号

メモ

マルチCDプレーヤーによっては、別売のIP-BUS 拡張アダプター「CD-P33」などを使うと、複数台接続できます。接続できる台数については、IP-BUS 拡張アダプターの説明書をご覧ください。(「CDX-P620S」などが複数台接続できます。)

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

50連奏マルチCDを操作する場合は、準備動作が終了していないと“NOT READY”と表示され動作しない機能があります。その場合は、50連奏マルチCD以外のソースに切り換えてください。その間に自動的に準備動作を行います。

本機に、50連奏マルチCDプレーヤー「CDX-P5000」を接続しても、次の機能は操作できません。

*ミュージックグループ別プレイ

*演奏頻度別プレイ

*“ABC” ディスクタイトル検索プレイ

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAG”が表示されます。

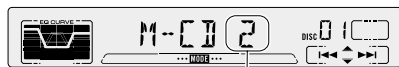
マルチCDを2台以上 接続したときは

再生するマルチCDを選ぶことができます。

BAND ボタンを押すごとに、次のマルチCDの再生に切り換わります。

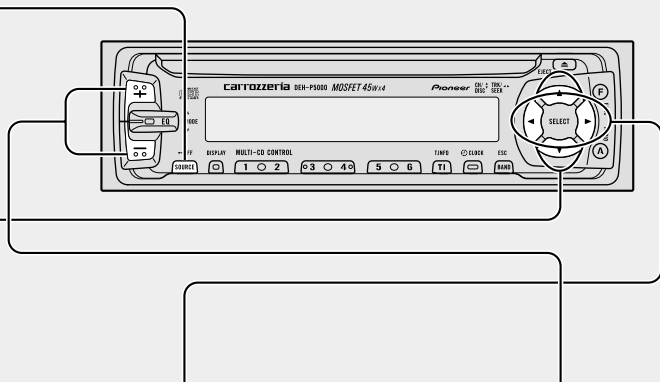
M-CD 1 M-CD 2 M-CD 3

M-CD 4に戻る



マルチCDの番号が約2秒間表示されます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

4 音量を 調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき

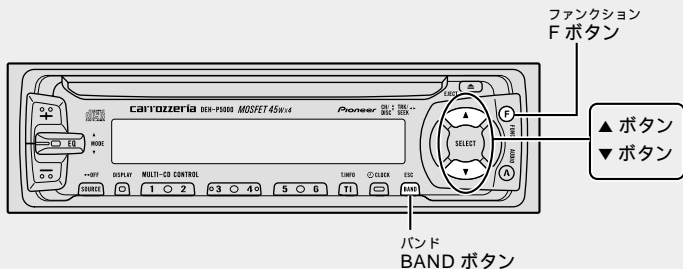


0 ~ 30 の範囲で
調節できます。

約 4 秒間、音量が表示されます。

5 マルチ CD 再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源 OFF
にする (☞ ここだけで① 8 ページ)



内蔵CD
1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 内蔵CD ②)

ランダムモード (☞ 内蔵CD ③)

スキャンモード (☞ 内蔵CD ④ 18 ページ)

ポーズモード (☞ 内蔵CD ⑤ 19 ページ)

最初に戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

F ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード (☞ 内蔵CD ⑥ 19 ページ)

プログラムファンクション設定モード
(☞ その他 ① 44 ページ)

最初に戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

内蔵CD

2



同じ曲を繰り返し 聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

F ボタンを押して選ぶ

( 内蔵CD )



2 リピート再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

内蔵CD

3



いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 ランダムモードにする

F ボタンを押して選ぶ

( 内蔵CD )



2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



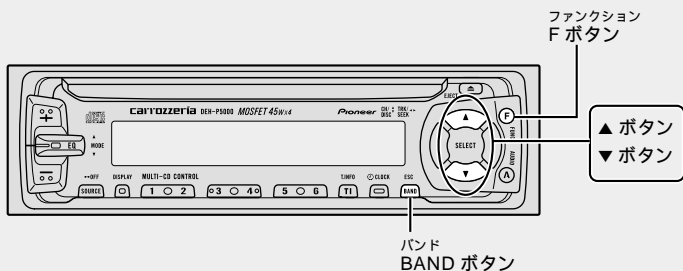
次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

内蔵CDでCDを聞く



内蔵CD
4

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

F ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD 16 ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(内蔵CD 16 ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

CDのタイトルを表示させることができます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶のしかた(内蔵 マルチCD 30 ページ)、タイトルの表示のしかた(内蔵 マルチCD 31 ページ)は、マルチCDと同じです。

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

記憶させたタイトルは、CDを取り出しても消えません。そのCDをマルチCDにセットしたとき、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。(タイトルを入力したCDが「CD TEXT」(内蔵CD 32 ページ)の場合、CD TEXTに対応したマルチCD(「CDX-P1240TX」など)にセットしたときは、本機で入力したタイトルは表示されません。)

マルチCDを組み合わせて使うときは、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する (内蔵CD 10 ページ)

2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ(内蔵CD 16 ページ)

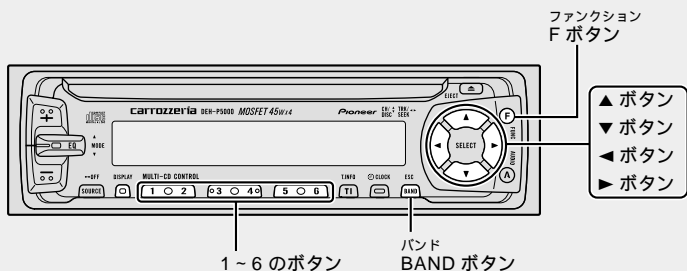


約2秒間表示されます。

3 CDタイトルを入力し、記憶させる (内蔵 マルチCD 30 ページ)

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で記憶させてください。





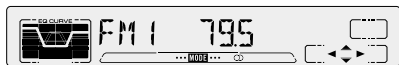
ラジオ 1 複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1~6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ここだけで 12 ページ)



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す



記憶動作中に点滅します。

2 BSM モードにする

F ボタンを押す



受信中の記憶番号

記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。
記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ)

放送局を1局ずつ記憶させる


プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

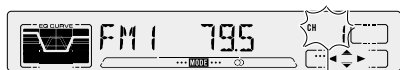
BAND ボタンを押す
( ここだけで③ 12ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
( ここだけで③ 12ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号（記憶番号）が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには ( ラジオ④)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
( ここだけで③ 12ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

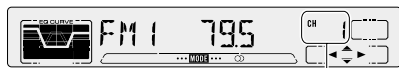
1～6のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

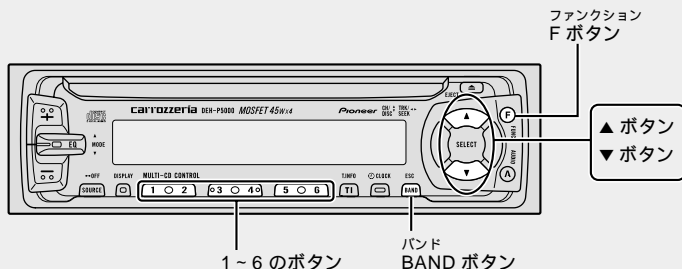
▲または▼ ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



マルチCD
1

聞きたいCDを 直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1

聞きたいCDを選ぶ

1~6のボタンを押す

2秒未満: 1~6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上: 7~12枚目のCDを選ぶとき



CD 番号

マルチCD
2

おおまかに選んでから聞 きたいCDを選ぶ (50枚)

ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1

聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1~5のボタンを押す

1: 10~19枚目のCDを選ぶとき

2: 20~29枚目のCDを選ぶとき

3: 30~39枚目のCDを選ぶとき

4: 40~49枚目のCDを選ぶとき

5: 50、51枚目のCDを選ぶとき



CD 番号

2

聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲: 次のCDを選ぶとき

▼: 前のCDを選ぶとき



CD 番号

メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“LOAD”が表示されます。(※ 50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチCD ④ 24ページ)

タイトルリストモード
(☞ マルチCD ⑩ 33ページ)

ランダムモード (☞ マルチCD ⑥ 26ページ)

スキャンモード (☞ マルチCD ⑤ 25ページ)

ITS再生モード (☞ マルチCD ③ 28ページ)

ポーズモード (☞ マルチCD ⑮ 34ページ)

COMP切り換えモード
(☞ マルチCD ⑩ 35ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BANDボタンを押します。

(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード
(☞ マルチCD ① 30ページ)

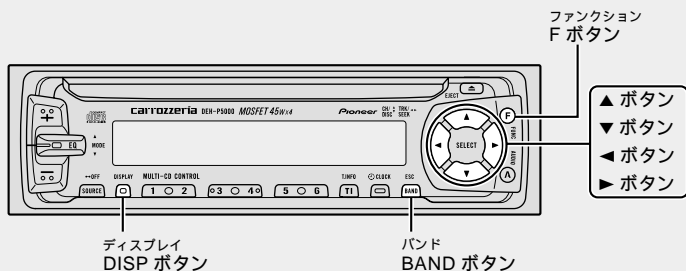
ITS入力モード (☞ マルチCD ⑦ 27ページ)

プログラムファンクション設定モード
(☞ その他 ① 44ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BANDボタンを押します。



マルチCD
4

同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。（通常はこのモードにしておきます。）

マルチCDを2台以上接続したときは、マルチCDリピートの次に、オールリピート（ALL）に切り換わります。オールリピートにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。

1 リピートモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(マルチCD ④ 23ページ)



2 再生範囲を切り換える

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



トラックリピートのときに表示されます。ディスクリピートのときは、“DISC”と表示されます。

TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートを選んだ場合のみ表示されます。

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを徐々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (マルチCD④)

聞きたい曲をさがすとき

(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートまたはトラックリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき

(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(マルチCD④ 23ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が徐々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に
表示されます。

スキャン再生の種類が表示されます。

表示 (スキャン再生の種類)	再生範囲
T	ディスクリピート
D	マルチCDリピート

4 聞きたい曲 (CD) が再生され たらスキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す

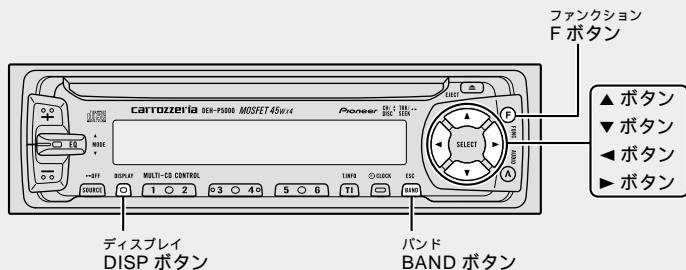


BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、スキャン再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の、すべてのCDの1曲目だけが約10秒間ずつ再生されます。



6 マルチCD いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (E 2 マルチCD 24ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(E 3 マルチCD 23ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

選んだ再生範囲が表示されます。

表示	再生範囲
D	ディスクリピート
M	マルチCDリピート

メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、ランダム再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の曲がランダム再生されます。

記憶させた曲だけ再生する (E3 マルチCD 28ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (E3 マルチCD 28ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。

ITSは、タイトル (E3 マルチCD 30ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

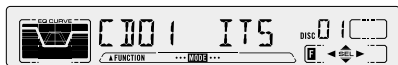
1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(E3 ここだけで 4 14ページ)

2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (E3 マルチCD 23ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

(E3 ここだけで 4 14ページ)

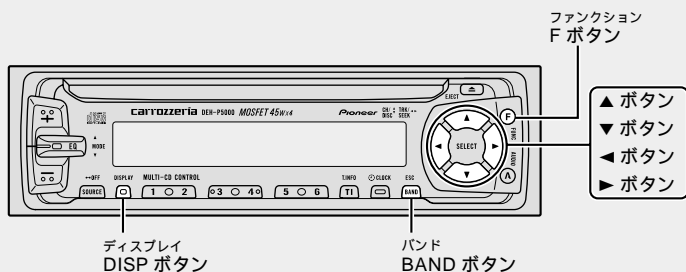
4 記憶させる

▲ ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD
8

記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (マルチCD 7 27ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ

(マルチCD 4 24ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(マルチCD 3 23ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(E 3 マルチCD ⑨)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す

(E 3 ここだけで ④ 14ページ)

3 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (E 3 マルチCD ⑨ 23ページ)



4 消去する

▼ ボタンを押す



記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す

(E 3 ここだけで ④ 14ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。

2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (E 3 マルチCD ⑨ 23ページ)



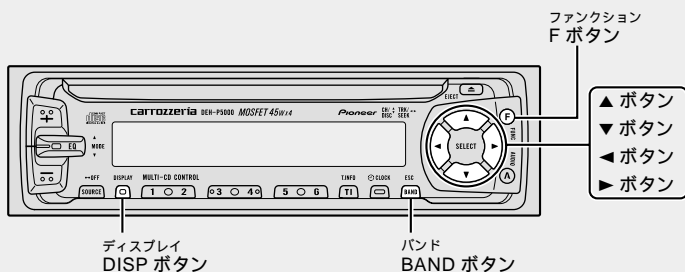
3 消去する

▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去されたことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 11 CDのタイトルを記憶させる

タイトル記憶

CDのタイトルを表示させる (マルチCD⑩) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (マルチCD⑩ 33ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

タイトルは10文字まで入力できます。

タイトルは、ITS (マルチCD⑦ 27ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。そのCDを内蔵CDにセットしたとき、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(ここだけで④ 14ページ)

2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (マルチCD③ 23ページ)



約 2 秒間表示されます。

3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

文字は_ (空白)、A~Z (アルファベット)、* + , - . / (記号)、0~9 (数字) の中から選ぶことができます。

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶: 右に移動させるとき

◀: 左に移動させるとき



10文字まで入力できます。

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余った場合は、空白を入力して、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBANDボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P1240TX」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルは変更できません。)

1 表示を切り換える

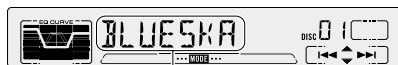
DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

曲番号/再生経過時間表示



タイトル表示

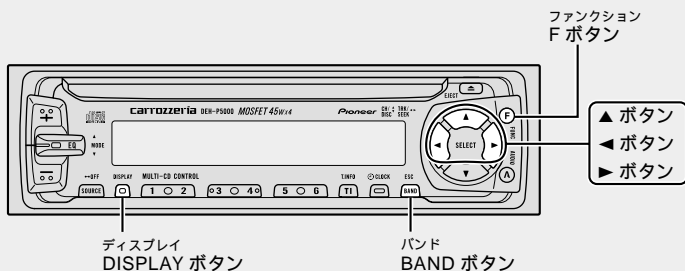


入力したタイトル

曲番号/再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。



マルチCD
13

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P1240TX」など)に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトル(ディスク名)などを表示させることができます。一度に10文字までしか表示されませんが、隠れている文字を順に表示させることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P1240TX」など)の機能です。

「CD TEXT」について

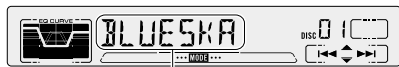
「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名/などの文字情報が記憶されたCDです。ディスクタイトル面に下記のマークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



曲番号/再生経過時間表示



例) ディスクタイトル表示



再生中の「CD TEXT」に記憶されているディスクタイトルが表示されます。

1 表示を切り換える

DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
曲番号/再生経過時間表示

ディスクタイトル(ディスク名)

ディスクアーティストネーム(歌手名)

トラックタイトル(曲名)

トラックアーティストネーム(歌手名)

曲番号/再生経過時間表示に戻る

メモ

「CD TEXT」のCDタイトルなどが、10文字以上のときは、DISPLAYボタンを2秒以上押ししてください。隠れている文字が順番に表示されます。トラックアーティストネーム(歌手名)などが記憶されていないCDで表示を切り換えると、「NO TA-NAME」などが表示されます。

隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAYボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されていきます。

マルチCD
14

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD 23ページ)



約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。

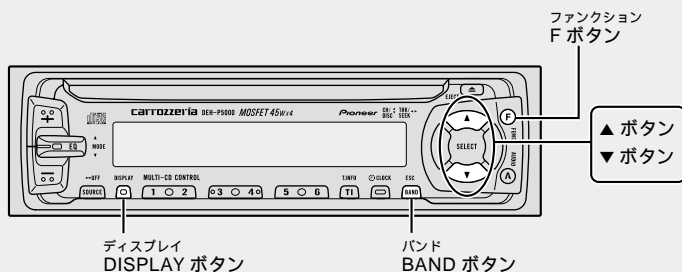
3 選んだCDを再生する

▲ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



マルチCD
15

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(E マルチCD 23ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック コンプレッション/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤー(「CDX-P620S」など)で操作できます。

コンプレッションについて

コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

Fボタンを押して選ぶ

( マルチCD  23ページ)



現在のコンプレッション / DBEの状態が表示されます。

ご注意

コンプレッション/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示されて、操作できません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

OFF

COMP 1 (コンプレッション1)

COMP 2 (コンプレッション2)

OFF

DBE 1

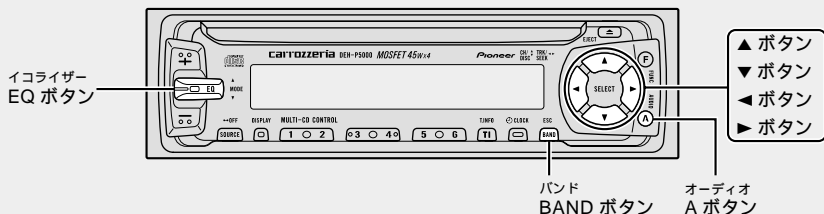
DBE 2

最初のOFFに戻る

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

コンプレッション、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。



音の調節

1

イコライザーカーブ を選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好み*i*のイコライザーカーブを選ぶことができます。

1 イコライザーカーブを切り換える

EQボタンを上下に動かす



EQボタンを上下に動かすと次のように切り換わります。

POWERFUL	SUPER BASS
NATURAL	EQ FLAT
VOCAL	CUSTOM (<small>音の調節</small> 7 40ページ)

メモ

“CUSTOM”には、お好み*i*に合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。

音の調節

2

オーディオ調節モードの 切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを切り換える

Aボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード
(音の調節 4 38ページ)

イコライザー調節モード
(音の調節 7 40ページ)

ラウドネスモード (音の調節 9)

サブウーファーモード (音の調節 6 39ページ)

サブウーファー調節モード
(音の調節 6 39ページ)

FIEモード (音の調節 8 41ページ)

SLAモード (音の調節 9 42ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BANDボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)


小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

Aボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)



2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

3 ラウドネスの効果を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

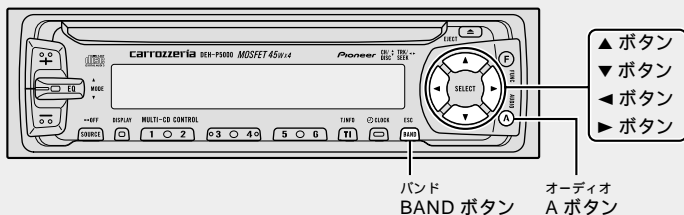
▶：効果を大きくするとき

◀：効果を小さくするとき



LOW (弱) MID (中) HI (強)
の中から選ぶことができます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



音の調節

4

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1

音量バランス調節
モードにする

Aボタンを押して選ぶ

(音の調節② 36ページ)



2

音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：前を強めるとき

▼：後ろを強めるとき



前後のバランスはF15～R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶：右を強めるとき

◀：左を強めるとき



左右のバランスはR9～L9の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

サブウーファー
を使う

サブウーファー

サブウーファーの出力をON/OFFすることができます。

1 サブウーファーモードにする

Aボタンを押して選ぶ

( 音の調節② 36ページ)

2 サブウーファー機能を
ONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)




サブウーファーがONのときに表示されます。

BANDボタンを押して、サブウーファーモードを解除してください。

サブウーファー
を調節をする

サブウーファー調節

サブウーファーの出力をON ( 音の調節⑤) にすると、出力レベルの設定をすることができます。

1 サブウーファー調節
モードにする

Aボタンを押して選ぶ

( 音の調節② 36ページ)



2 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

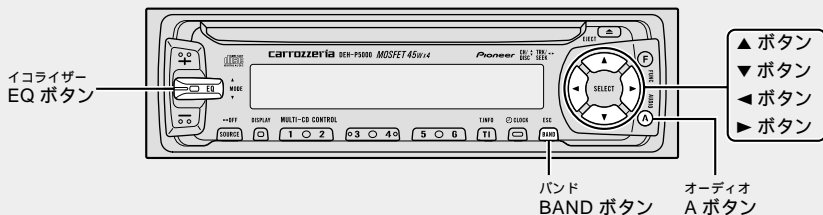
▲：強めるとき

▼：弱めるとき



レベルは-6 ~ +6の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



音の調節

7

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

1 調節したいイコライザーカーブに切り換える

EQ ボタンを上下に動かす
(EQ 音の調節 ① 36ページ)

2 イコライザー調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ
(EQ 音の調節 ② 36ページ)



3 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す



LOW (低音)、MID (中音)、HIGH (高音)の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

イコライザーカーブを調節すると表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM”に記憶されます。

“CUSTOM”を選ぶには (EQ 音の調節 ① 36ページ)


交通情報 (EQ その他 ④ 46ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

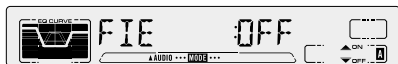
前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

1 FIEモードにする

Aボタンを押して選ぶ
( 音の調節 ② 36ページ)



2 FIEをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



FIE が ON のときに表示されます。

3 FIEの周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押す


- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



100、160、250 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より低い周波数の音が、後ろのスピーカーから出力されます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

4 前後の音量バランスを調節する ( 音の調節 ④ 38ページ)

FIEをONにすると、後ろのスピーカーの音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。

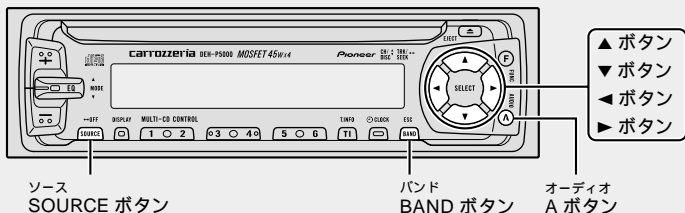
ご注意

FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

メモ

FIEとは、Front Image Enhancer (フロント イメージ エンハンサー) の略です。

2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。



音の調節

9

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCEボタンを押す
(ここだけで④ 12ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCEボタンを押す
(ここだけで① 8ページ)

3 SLAモードにする

Aボタンを押して選ぶ
(音の調節② 36ページ)



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、テープ、CD、MD、AUX (外部機器)のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMDおよびAMと交通情報 (その他③ 46ページ) は同じ設定になります。

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには、3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。

1 イコライザーカーブ詳細設定モードにする

Aボタンを2秒以上押す



選んだバンドのQファクター（イコライザーカーブの傾き）を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



2N、1N、1W、2Wの中から選ぶことができます。

BANDボタンを押して、イコライザーカーブ詳細設定モードを解除してください。

メモ

交通情報 (☞) その他 (③ 46ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブ詳細設定モードには切り換わりません。

2 バンドを選んで中心周波数とQファクターを調節する

バンドを選ぶ

Aボタンを押す

ボタンを押すごとにLOW、MID、HIGHが切り換わります。



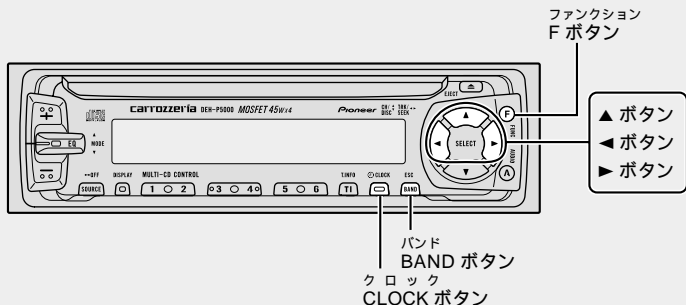
表示 (中心周波数 [Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	LOW
200、500、1K、2Kのいずれか	MID
3K、8K、10K、12Kのいずれか	HIGH

中心周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選んだ中心周波数が表示されます。



その他

1

よく使う機能を学習させる

プログラムファンクション

よく使う機能をソースごとに、リモコン(「CD-R600」別売)のPGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、内蔵CDでポーズ、ラジオでBSM、マルチCDでポーズが学習されています。)

内蔵CDのとき

1 プログラムファンクション設定モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ

(☞ 内蔵CD 16 ページ)



約2秒間表示されます。

2 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PAUSE (ポーズ)

REPEAT (リピート)

RANDOM (ランダム)

3 選んだ機能を学習させる

▲ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

BANDボタンを押して、プログラムファンクション設定モードを解除してください。

4 学習させた機能进行操作する

リモコンのPGMボタンを押す

(☞ はじめに 7 ページ)

学習させた機能により、操作方法が以下ようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	----
リピート	ON/OFF	----
ランダム	ON/OFF	----

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。

1 時計を表示する

CLOCK ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFF します。



時計表示

メモ

時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。

プログラムファンクション (つづき)

ラジオのとき

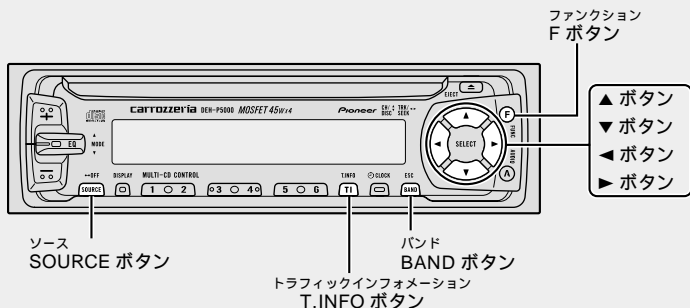
ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習させることはできません。PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
BSM	OFF	ON

マルチCDのとき

マルチCDで、プログラムファンクション設定モードにするには、F ボタンを2秒以上押して詳細設定モードにしてから、F ボタンで選びます。(E 23 ページ) マルチCDで学習できる機能と、PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	-----
リピート	切り換え	-----
ランダム	ON/OFF	-----
タイトルリスト	タイトルリスト	-----
	モードになる	
ITS	記憶	再生



3 交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

T.INFO ボタンを押す

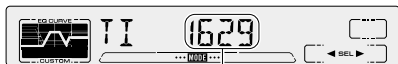


AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 1,629 kHzにするとき
- ◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

T.INFO ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。交通情報を受信しているときは、交通情報用の音量を設定することができます。交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

その他
4

初期設定モードの切り換えかた

外部機器設定をするときは初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源をOFFにする

SOURCE ボタンを1秒以上押す
( ここだけで① 8ページ)


2 初期設定モードにする


電源がOFFのときに、F ボタンを2秒以上押す



初期設定モードになります。

3 初期設定モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
時計調節モード ( その他⑤)

AUX (外部機器) モード
( その他⑦ 49ページ)

オートアンテナモード
( その他⑥ 48ページ)

時計調節モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(解除すると電源がOFFになります。)

その他
5

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源がOFFのときに、F ボタンを2秒以上押す



2 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



押すごとに時または分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 時刻を進めるとき

▼ : 時刻を遅らせるとき

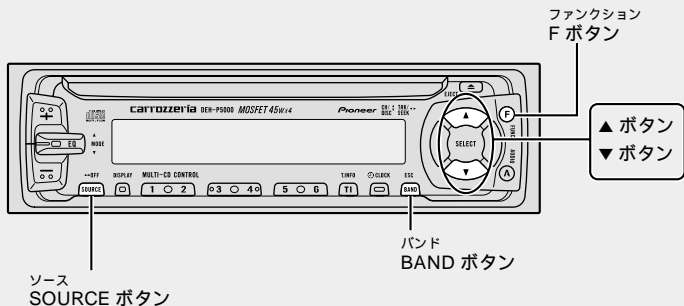


分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

時計調節モードを解除すると、電源がOFFになります。



その他
6

テレビのときにオートアンテナをのぼす

オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (7型ワイドAVシステムTV「AVX-P707W」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのぼすことができます。

オートアンテナの設定について

設定がOFFのときは、ソースをラジオにしたときだけ、オートアンテナがのびます。

設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびるようになります。

ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

1 オートアンテナモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ
(15 その他④ 47ページ)



2 オートアンテナの設定をONにする

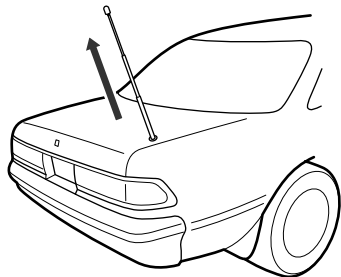
▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをテレビにする

SOURCEボタンを押して選ぶ
(15 ここだけで① 8ページ)



オートアンテナがのびるようになります。

その他
7

外部機器の音声を 聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器)モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ
(☞ その他④ 47ページ)



2 AUX (外部機器) の設定を ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押して選ぶ
(☞ ここだけで① 8ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

その他
8

外部機器の名称を 入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押して選ぶ
(☞ ここだけで① 8ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

Fボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 外部機器の名称を入力し、記 憶させる (☞ マルチCD① 30ページ)

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT”を入力した場合



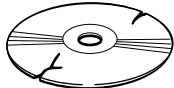
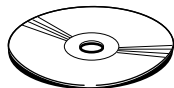
“AUX”の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

使用できるCDについて

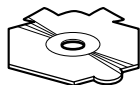
下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。

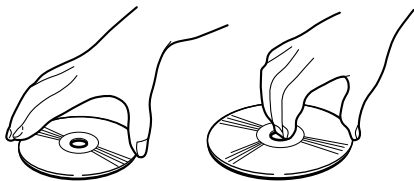


特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



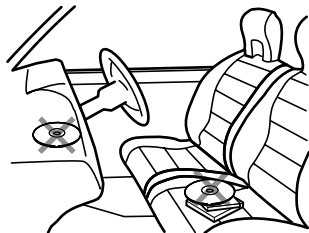
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



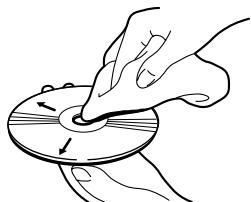
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

故障かな？と思ったら

故障かな？
と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



チェックしても
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他⑫ 55ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで⑩ 10ページ) (☞ ここだけで⑪ 12ページ) (☞ ここだけで⑫ 14ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ はじめに② 7ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節④ 38ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節④ 38ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節④ 38ページ)

ラジオ


症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジー ジー、ザーザー”という雑 音が多い。	放送局の周波数が合ってい ない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで⑫ 12ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで⑫ 12ページ)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくな ります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで⑫ 12ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他⑨ 50ページ)
	CDにくもりや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他⑨ 50ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 10ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( その他 ④ 50ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機の操作の概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを 聞いているとき	テープを 聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局	早送り/巻き戻し、頭出し
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMD を接続している場合のみ)	記憶させた放送局の 切り換え	-----
BAND ボタン	マルチCDの切り換え (マルチCDを2台以上接 続している場合のみ)	バンド (FM/AM) の 切り換え	再生方向 (A面/B面) の 切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

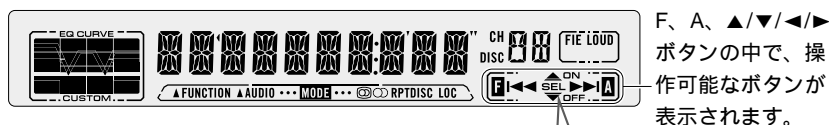
手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	イコライザー カーブ詳細 設定モード
1	それぞれの モードにする	F ボタンを押す	F ボタンを 2 秒以上 押す	電源がOFF のときに、 F ボタンを 2 秒以上 押す	A ボタンを 押す	A ボタンを 2秒以上押す
2	機能を切り換える	F ボタンを押す			A ボタンを 押す	A ボタンを押す (バンド切り換え)
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ ボタンを押す				
		◀または▶ ボタンを押す				
4	それぞれの モードを解除する	BAND ボタンを押す				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : 内蔵CDのリピート再生 (☞ 内蔵CD② 17ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD⑤ 25ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード : PGM (学習) ボタンの記憶 (☞ その他① 44ページ) やマルチCDのタイトル入力 (☞ マルチCD① 30ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (☞ その他⑦ 49ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード : フェーダー/バランス (☞ 音の調節④ 38ページ) など、音質に関する調節ができます。
- イコライザーカーブ : イコライザーカーブを細かく調節できます。
詳細設定モード (☞ 音の調節⑩ 43ページ)

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



表示の例	内容
	▲/▼/▶/◀ ボタンで操作できます。
	▲または▼ ボタンで機能のON/OFFができます。 また、A ボタンで機能を切り換えることができます。
	◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。 また、F ボタンで機能を切り換えることができます。

その他の機能と付録

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
オーディオシステム
使用ディスク : コンパクトディスク
信号
フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16ビット直線
周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N : 94 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)
ダイナミック
レンジ : 92 dB (1 kHz)
チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 9 dBf (1.0 μV/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 14 dBf
(1.7 μV/75 、モノラル)
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz
実用感度 : 18 μV (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (± 9 kHz)

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 45 W × 4 (EIAJ)
定格出力 : 22 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)
イコライザー
(3バンド)
パラメトリック
イコライザー) : (LOW)
周波数: 40/80/100/160 Hz
Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(MID)
周波数: 200/500/1K/2K Hz
Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(HIGH)
周波数: 3.15K/8K/10K/12.5K Hz
Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB

ラウドネス

コンター : LOW : 3.5 dB (100 Hz)
3 dB (10 kHz)
MID : 10 dB (100 Hz)
6.5 dB (10 kHz)
HIGH : 11 dB (100 Hz)
11 dB (10 kHz)
(ポリリウム : - 30 dB)

サブウーファー

出力 : 周波数 : 80 Hz
スロープ : - 12 dB/oct.
ゲイン : ± 12 dB

負荷

インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)
プリアウト
最大出力レベル : 2.2 V
出力インピー
ダンス : 1 k

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 164 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 14 (D) mm
質量 : 1.3 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

 0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 1998

< 98L00F0J01 > < CRA2616-AJS >